

在宅取組型（中学校）

学校名等	大垣市立東中学校
実施日時	令和2年6月25日(木)
会場	東中学校 校長室
参加人数	保護者 50名(オンライン)
学習課題(分野)	学校再開に向けて
運営者の願い	約3か月休校したため、学校再開に向けて、学校長から保護者の方に向けて、学校で取り組んでいくことをオンラインという形で講話をしていただきたい。

学習の内容

< 校長の講話 >

講師 大垣市立東中学校 石橋佳之校長

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、従来のように保護者の方に学校内に来ていただくことが出来なくなり、オンラインという形で講話をしていただいた。
- ・校長先生のモットーとする言葉「すぐやる、必ずやる、できるまでやる」という信念で活動していくこと。これからの時代を生きぬいていく力を子供たちに教えていくべきことや、学校再開に向けて、取り組んでいること、生徒会が行っている内容、コロナの中、保護者の方へお願いしたいことなどを講話していただいた。



<保護者の感想より>

- ◇ オンラインで講話を聞くことは初めてでしたが、スムーズに接続できたこと、講話内容も子供たちの笑顔のために先生方や生徒会で取り組んでいることがわかり、とてもよかったです。
- ◇ スムーズに接続できました。詰め込み式の学びから、問題解決ができるよう、実践的な学びを通じて実生活に活かしていくという点はとても理解できました。

<委員長からの感想>

初めての試みであるオンラインの講話を快く引き受けていただいた、校長先生を始め携わった先生方に感謝を申し上げます。保護者の不安は高まるばかりの中、校長先生からの教育方針が拝聴でき、行ってよかったと思いました。日本のGDP(国内総生産)が20年も下がり、先進国としては異常の「成長していない国」とされている日本で、子供たちがこれからの社会において何を身につけていかなければならないか？保護者は何を伝えていかなければならないか？SNSやメディアに踊らされず、しっかりとした「目」で学校と一体となって、子供たちを育てていくことが保護者の使命だと感じました。



双方向通信サービスの利用

- ◎ 当初は書面での開催を考えていたが、オンラインの方が、内容がよく伝わり、また、今後、学校と家庭をオンライン・双方向で結ぶ授業も考えられることから、WEBを使った開講式を計画した。



リアルタイムのよさ

- ◎ WEB 配信することで、話し手の声の強弱や抑揚がリアルタイムで伝わり、紙面では見えない話し手の熱い思いを感じることができた